

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Programmingday五日市		
○保護者評価実施期間	令和6年12月27日		～ 令和7年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	105	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが安心感を持ち、通所を楽しみにしている。	それぞれのお子さまの個別支援計画に沿った活動内容を用意している。その日の心身の状態に合わせて内容を調整している。	パソコンをツールとした療育の幅を広げるため、職員研修の充実など、スキルアップに取り組んでいく。 情報の共有を行い、チームでの支援に力を入れていく。
2	お子さまと保護者のニーズを把握し、個別支援計画を作成、説明、報告をしている。	モニタリング時には丁寧にお聴き取りさせていただき、計画の作成に反映している。作成した計画は保護者とお子さまに説明している。日々の療育についてはメールで詳細な報告をしている。	お子さまのニーズについて、ご本人からお聞きする。 ご本人を含めたモニタリング開催を提案させていただく。
3	お子さまを含むご家族への職員からの共感的支援がある。	家族支援プログラムを開催した。相談事があった場合は時間を取り対応している。お子さまとの関わり合いを大事に活動している。	お子さまとの関わり合いの中で様々なツールを活用していく。引き続き家族支援プログラムの企画と開催をしていく。 相談窓口があることをお知らせする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや研修、交流会などの情報の周知が行き届いていない	毎月広報誌を作成し、全家庭へ郵送、研修等のチラシは出入りに張り出しているが、保護者の目に届かないことがある。	郵送、張り出し、メール等を駆使して周知をしているがそれに合わせて、アプリやシステム等保護者がアクセスしやすいよう環境整備について現在検討している。
2	利用希望者が多数おり、キャンセル待ちでの利用がなかなか進まない。	定期利用者のキャンセルが出た場合はキャンセル待ちの案内を検討しているが、当日連絡であったり、利用についてのお返事がいただけない場合、ご利用に繋がらない場合がある。	引き続き、キャンセル待ちの利用について契約時に説明を行う。各職員がスケジュールの把握に勤め、定員数に考慮した上でキャンセル待ち案内を随時進める。キャンセル待ち案内の返答をいただく。
3	地域との連携、地域の子どもと活動する機会	保護者からの要望がない。PDならではの活動を期待されている分、地域活動は求めてないという意見が多い。地域の研修情報について紙面張り出し等で周知を行っている。	保護者アンケートでは「必要としていない」との声があるが、以前も保護者交流を必要としていないと言う声の中家族支援プログラムを開催して「つながりが出来て良かった」と言う声があった。